

お知らせ  
します

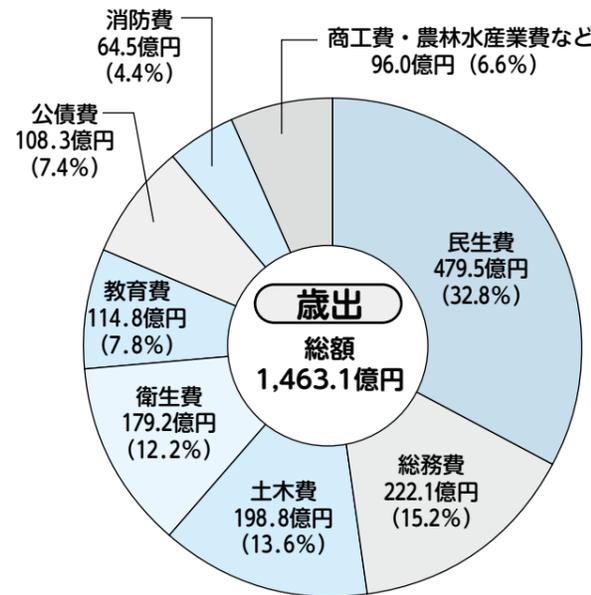
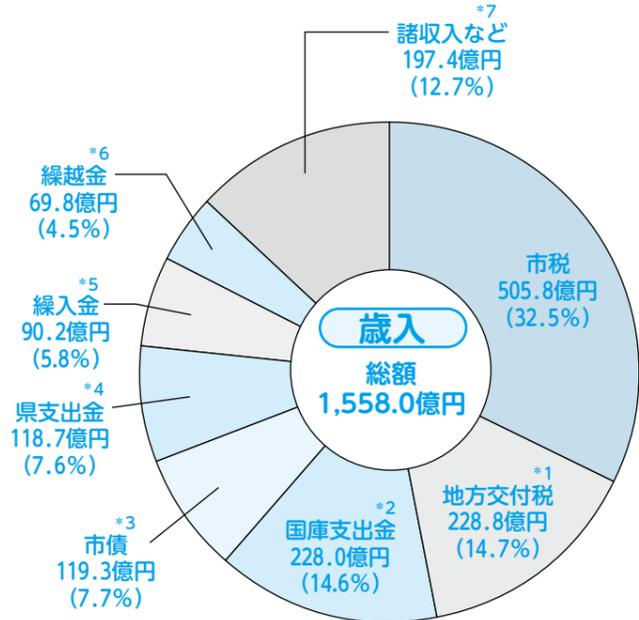


# 市の家計簿

市では「いわき市財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、財政状況を明らかにするため、①平成29年度決算のあらましと、②平成30年度予算上半期（4月1日～9月30日）の執行状況を作成・公表しています。  
今月号では、公表している内容の概要をお知らせします。

※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げが合計と一致しない場合があります。

## ①平成29年度



- \*1 一定水準の行政サービスを提供するために国から交付されるお金（震災からの復旧・復興分を含む）
- \*2 特定の目的のために国から交付されるお金
- \*3 市が行う大規模な建設工事や災害復旧事業などに認められる借入金

- \*4 特定の目的のために県から交付されるお金
- \*5 各種基金などから繰り入れるお金
- \*6 前年度の会計から持ち越されたお金
- \*7 貸付金の元金収入など、他の収入に含まれないお金

## 決算のあらまし

### 一般会計

福祉や教育、土木など市の一般的な事業の大部分を経理する会計（震災の影響により規模が大きくなっています）

平成29年度の一般会計決算額は、歳入総額が1,557億9,807万円（対前年度比0.2%減）、歳出総額1,463億1,100万円（対前年度比1.9%減）でした。このうち、平成30年度へ繰り越した事業に充当した財源を差し引いた実質的な収支は、46億1,249万円の黒字となりました。

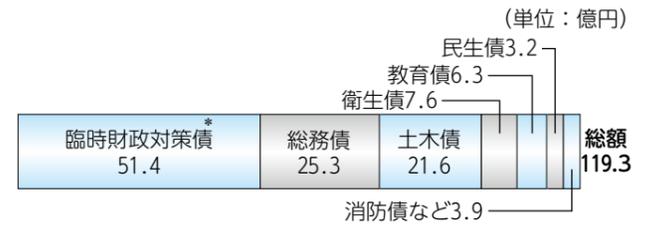
### 歳出の主な事業と費用

(単位：億円)

区分	事業内容	事業費
総務費	本庁舎等耐震化改修事業費	28.9
	生活保護費	70.9
民生費	児童手当給付費	52.4
	障害福祉サービス事業費	50.8
	私立保育所施設型給付費	33.2
	児童福祉施設建設事業費	18.2
衛生費	児童扶養手当給付費	16.0
	ごみ処理施設整備費	51.3
	ごみ収集処理費	32.2
土木費	病院事業費	25.5
	下水道事業費	36.4
消防費	震災復興・側溝堆積物撤去事業費	16.7
	除染推進事業費	25.8
教育費	給食センター施設管理運営費	22.9

### 市債使い道

市債を活用して整備した道路などは、皆さんが将来にわたり利用するものですので、返済は次の世代の方々にも負担してもらおうという考えに基づいています。



\* 地方一般財源の不足に対応するため、地方財政法の特例として発行される地方債

### 市債を活用した主な事業

区分	事業内容
総務債	本庁舎等耐震化改修事業
土木債	道路新設改良事業 都市公園整備事業
衛生債	上水道事業 火葬場整備事業
教育債	文化センター耐震化事業

## 市民1人当たりの市民サービス

<b>民生費</b> 139,684円 児童や高齢者、障がい者福祉など	<b>総務費</b> 64,713円 市税・戸籍・選挙など	<b>土木費</b> 57,910円 道路や住宅、公園の整備など	<b>衛生費</b> 52,202円 各種検診や予防接種、ごみ収集処理など	<b>サービス額</b> 市民1人当たり 426,242円 147,364円 ※平成30年4月1日現在の人口343,258人で算出。
<b>教育費</b> 33,435円 学校教育や文化・スポーツ振興など	<b>公債費</b> 31,544円 借入金（市債）の返済など	<b>消防費</b> 18,792円 消防・水防、救助活動など	<b>商工費</b> 14,409円 商工業や観光の振興など	
<b>議会費・災害復旧費など</b> 3,995円 市議会運営、被災した施設の復旧など				

### 復興交付金を活用した主な事業

(単位：億円)

事業内容	復興交付金
災害公営住宅家賃低廉化事業	10.5
久之浜都市下水路整備事業	2.2
東日本大震災特別家賃低減事業	1.2
災害公営住宅周辺道路整備事業（四倉）	0.4
低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業	0.3
消防水利整備事業（豊間）など	3.7
合計	18.3

### 復興基金を活用した事業

(単位：億円)

事業内容	復興基金
津波被災住宅再建支援事業	4.2
震災メモリアル事業	0.1
休日夜間急病診療所整備事業	0.0
合計	4.3

### 特別会計

国民健康保険事業など特定の事業を行う場合、特定の歳入（国民健康保険税など）をもって特定の歳出（医療費など）に充てる会計

(単位：億円)

会計名	収入済額	支出済額	差引額
国民健康保険事業	408.6	401.0	7.6
後期高齢者医療	37.4	37.3	0.1
介護保険	307.0	301.3	5.7
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.5	1.4	0.1
土地区画整理事業	116.8	96.8	20.0
卸売市場事業	3.0	3.0	0.0
競輪事業	217.2	212.0	5.2
財産区（6財産区）	5.8	2.4	3.4
合計	1,097.3	1,055.3	42.0

### 企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などにより補てんしています。

(単位：億円)

会計名	収益的収支 <sup>*2</sup>			資本的収支 <sup>*3</sup>		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道事業	103.6	77.1	26.5	27.2	86.4	▲59.2
病院事業	211.1	196.8	14.3	82.8	89.4	▲6.6
下水道事業	81.6	79.4	2.2	50.7	79.4	▲28.7
地域汚水処理事業	1.6	1.3	0.3	0.0	0.2	▲0.2
農業集落排水事業	2.7	2.9	▲0.2	0.7	1.5	▲0.8
合計	400.6	357.5	43.1	161.5	256.9	▲95.4

\*1 減価償却費や資産減耗費など、現金支出を必要としないものを費用に計上することによって、企業内部に留保される金額

\*2 1事業年度の経営活動により、発生が予定される収益とその費用

\*3 将来の経営活動に備える建設改良や建設改良の企業債償還金などの支出と、その財源収入

# 遠野地区まちづくり懇談会を開催



～「ほっとする遠野の里」のこれからを考える～

特集



教育環境について提案する参加者

遠野地区まちづくり懇談会を十一月七日、上遠野公民館で開催しました。同懇談会では「『ほっとする遠野の里』のこれからを考える」をテーマに、教育環境や、子育て環境の整備、遠野地区の振興などについて、住民の皆さんと市長・関係部長が意見を交換しました。その主な内容をお知らせします。

○今後の遠野地区の小・中学校の在り方について  
 【提言】遠野地区において、児童・生徒数の減少は進んでいる状況にあります。現時点で、小・中学校の再編を進めるといった状況はないと思います。遠野地区

の小・中学校の在り方について、市の考えを。  
 【市】遠野地区の現在の学校の児童・生徒数は、上遠野小学校が百五十六人、入遠野小学校が六十四人、上遠野中学校が九十一人、入遠野中学校が三十七人となっており、各学校とも小規模化が進行しています。特に入遠野小・中学校の小規模化が顕著であり、入遠野小学校については、平成三十四年度から複式学級の編制も予測されます。今後、保護者や地域の皆さんと意見交換を重ねながら、未来を担う子どもたちにとって、より良い教育環境の整備に努めていきたいと



小規模化の進行により複式学級の編制が予測される入遠野小学校



真剣に説明を聞く住民の皆さん

考えています。  
 ○通学路におけるブロック塀などへの対応について  
 【提言】大阪府で発生した大きな地震により、女子児童がプールの壁の崩落に巻き込まれ、命を落としました。遠野地区では、ブロック塀や石垣などが道路沿いにあり、通学路等に危険なブロック塀などがないかの安全点検が必要だと思えます。通学路の安全確保について、市の考えを。  
 【市】大阪府北部を震源とする地震に伴い、市立小・中学校の敷地に隣接する道路に設置されているブロック塀などについて、緊急の安全点検を実施しました。遠野地区に該当するブロック

ク塀はありませんでしたが、他の地区では、現行の建築基準法の基準に適合していないものが八校にあり、その撤去作業が完了しました。また、関係機関などと市通学路交通安全対策推進協議会を組織し、児童・生徒の通学時における交通安全の確保に努めています。大阪府の事故を踏まえ、同会において一層の情報共有と連携強化を確認しました。さらに、遠野地区の小・中学校から報告があった通学路におけるブロック塀などについては、民有地などに設置されていたため、付近を通らないよう、各学校を通じて児童・生徒に指導しました。

## ②平成30年度予算上半期の執行状況

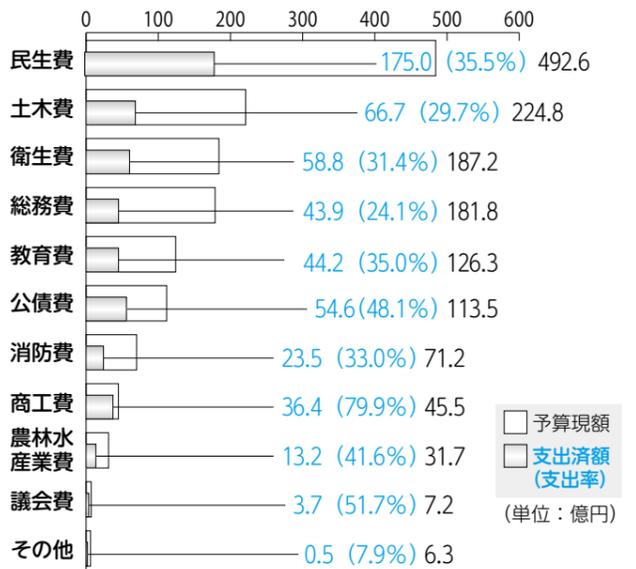
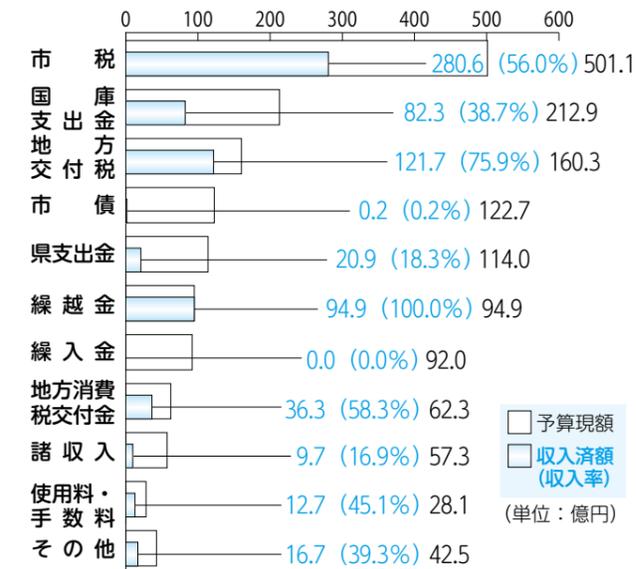
### 一般会計

平成30年度9月末現在の一般会計予算は、当初予算額1,354億3,378万円に、補正予算額など133億7,282万円が加わり、1,488億660万円となっています。

また、同日現在の収入率は45.4%、支出率は35.0%で、前年度同期に比べて、収入では4.0ポイント高く、支出では1.0ポイント低くなっています。

**歳入** 予算現額 1,488.1億円  
 収入済額 676.0億円 (収入率45.4%)

**歳出** 予算現額 1,488.1億円  
 支出済額 520.4億円 (支出率35.0%)



特集

### 特別会計

会計名	予算現額 (億円)	収入率 (%)	支出率 (%)
国民健康保険事業	331.5	39.3	34.3
後期高齢者医療	38.9	31.1	31.2
介護保険	308.1	45.8	41.7
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1.6	42.5	36.4
土地区画整理事業	85.8	24.9	36.0
卸売市場事業	3.1	39.7	41.0
競輪事業	217.5	72.4	64.2
財産区 (6財産区)	5.3	81.4	72.9
合計	991.9	47.2	43.4

### 市債の現在高

区分	現在高 (億円)	主な内訳
一般会計	1,110.6	臨時財政対策債512.8、一般単独事業債291.4、公営住宅建設事業債72.5、公共事業等債66.3、学校教育施設等整備事業債49.7、上水道出資債25.5、退職手当債など92.4
特別会計	78.8	土地区画整理事業債など78.8
企業会計	1,098.1	下水道事業債621.2、水道事業債など476.9
合計	2,287.5	

### 企業会計

会計名	収入予算額 (億円)	収入率 (%)	支出予算額 (億円)	支出率 (%)
水道事業	142.6	35.4	189.6	18.4
病院事業	311.3	38.4	412.3	21.2
下水道事業	132.3	39.6	159.0	23.0
地域汚水処理事業	1.6	30.5	1.4	18.1
農業集落排水事業	3.6	41.8	4.5	26.7
合計	591.3	37.9	766.8	20.9

### 市の財産

項目	金額 (億円)
○一般会計・特別会計	
・土地	60,270,995㎡
・建物	1,537,991㎡
・立木	421,653㎡
・車両	736台
・有価証券など	16億216万円
・基金	現金=724億7,922万円 現物=16億4,414万円
○企業会計	
・土地	1,240,593㎡
・建物	209,411㎡
・車両	75台
・構築物など	=2,226億7,207万円

### 一時借入金現在高

一般、特別、企業の各会計とも0円

市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。○お問い合わせ 財政課財政経営係 ☎22-7420